



海の平均の深さはどれくらいなの

平均して3795メートル

地球の表面の約70パーセントは、海でおおわれています。そして、残りの約30パーセントが陸地です。

海は、大陸棚といわれる、海岸からの深さが、200メートルぐらいの所をすぎると、急に深くなっていきます。

海の深さを調べてみると、4000～5000メートルの深さの所が、海全体の33パーセントをしめています。6000メートルよりも深い所は、1.2パーセントぐらいになります。

海の平均の深さは、3795メートルです。富士山の高さが3776メートルなので、富士山が、ちょうど、しずむぐらいの深さです。もし、陸地をけずって海をうめたとしたら、地球の表面は、2400メートルの深さの海で、おおわれてしまいます。

平均の深さは、太平洋がいちばん深い

太平洋、大西洋、インド洋の、三つの大洋の、平均の深さを比べてみると、太平洋、インド洋、大西洋の順になります。

太平洋は、4282メートル、インド洋は、3963メートル、大西洋は、3926メートルです。太平洋には、たくさんの深くなっている部分(海溝)があります。最も深い海底は、太平洋のマリアナ海溝にあって、その深さは、10920メートルもあります。

(監修・国司 真)

